東京学芸大学附属
世田谷小学校
SETAGAYA ELEMENTARY SCHOOL

東京学芸大学附属世田谷小学校
研究部長　久保賢太郎

「学びを自分でデザインする子を育てる会」
保護者向け公開シンポジウム

文部科学省　研究開発学校制度

- **新しい教育課程（カリキュラム）や指導方法の開発**を目的

- 学習指導要領等の**国の基準によらない教育課程の編成・実施**が認められている

本校の研究開発課題

未来社会を創造的に生きる「学びを自分でデザインする子」を育成する，

個に基づく「じぶん de ラボ」と，教科・学年を超えた協働的探究の「みんな de ラボ」の双方で駆動する

教育課程及び学習環境デザインの研究開発

「学び」とは何か
―「習得」から「参加」へ―

- 「～をした」「～ができる」という「行為」ではない
- しかし、この具体的な行為を目標とし、評価することが当為となっている

「学び」とは何か
―「習得」から「参加」へ―

- 「行為」を手段として含みこむ
  目標自体への「参加」

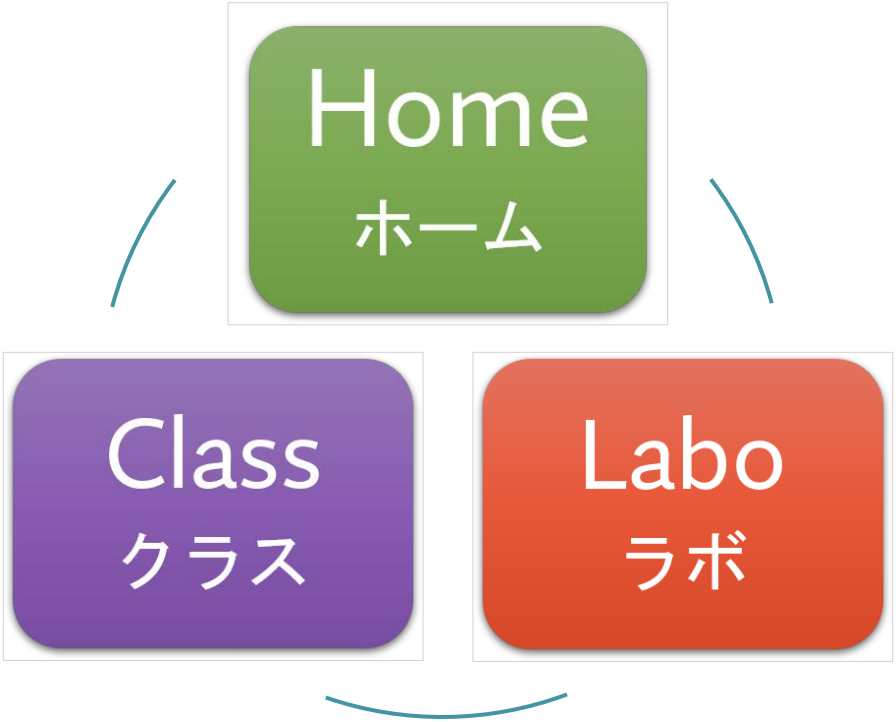
- その目標に参加する子は、
  その目標に迫るための手段を
  それぞれに思考・選択
  し、必要に応じて習得する

「学びを自分でデザインする」

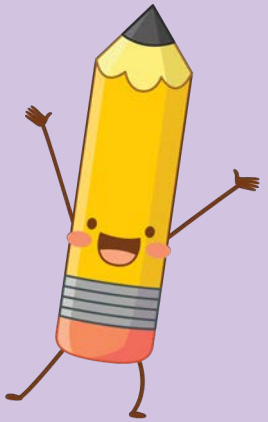
学びが自分（たち）のものであると自覚し、
学びの目標、道筋、表現方法を思考し選択している子

⇒それを保障するカリキュラムや学習環境の構想

来年度からの「新しい学校」



Class/クラス＝教科学習
–子どもの経験世界を広げ，「デザイン」につなげる–



- 同じ学年のみんなで学習します
- 教科の先生の教室に行って学習します
- 学年を3つのクラスに分けて学習します
- 低学年は担当の先生と一緒に学習します
- 3年生以上は，「専科」の先生と，国語・社会・算数・理科・音楽・図画工作・家庭科・体育・英語を学びます

「デザイン」の実践につながる文化・科学の「見方・考え方」を広げるとともに、基礎的な内容の定着、「学び方の学び」を目指します

Laboratory/ラボ＝研究室での探究

–学びの「ビジョン」に迫る道筋を「自分」でデザイン–

- 一人一人がテーマや研究室を選んで とことん研究します
- 自分が選んだ研究室の教室に行って研究します
- ３年生はテーマごとに学年の人たちと、4～6年生はテーマごとに学年をこえていっしょに研究します
- 1，2年生の「ラボ」はありません

「学びのビジョンをもち、それに迫るためにどういった目標・道筋、表現方法が必要になるか」を、思考し選択することのできる学習環境をデザインします

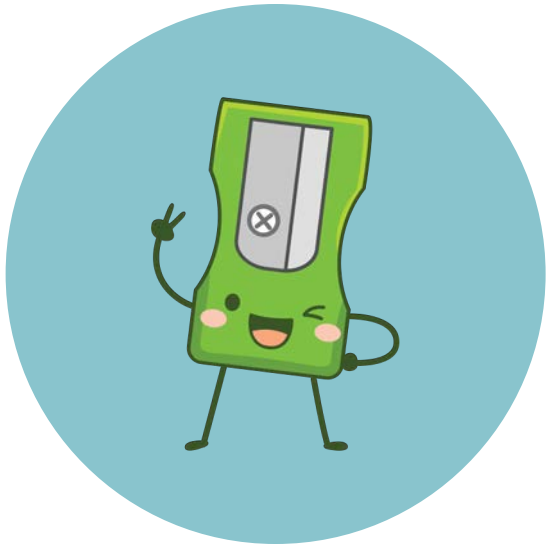
Home/ホーム＝異学年集団での生活

–「よりよく生きる」ことを「みんな」でデザイン–

- 登校したら自分のHomeに行きます
- 各学年の５～６人が 1年間いっしょに生活します
- Homeで給食を食べたり そうじをしたりします
- みんなで助け合って 過ごしやすい生活をつくります
- Homeのみんなにとって豊かな時間となるような活動を考えたり、実践したりします

生活が「みんな」とともにあることを自覚し、Homeに集う「みんな」、世田谷小学校に集う「みんな」にとって、よりよい生活とは何かを考え、その実現のための目標、道筋、表現方法を思考し選択することのできる学習環境をデザインします

新しい一日の生活は…



①Homeの教室で 友だちと おはよう！
②校庭へ行ったり 教室で朝休み
③Homeで 朝の会
④それぞれのClassで 授業（教科学習）
　1，2 年生は 低学年総合学習
⑤ Homeで 給食→教室のそうじ→昼休み
⑥ 1,2年生は またあした！
⑦ 3年生以上は Laboへ出発！

来年度からの「新しい学校」

子どもの１日の動き/時程

Home　Class　Labo

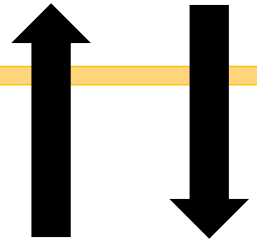
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:20～9:20	Home				
9:30 ～10:10	Class　教科学習40分×4コマ×週5日 1・2年生：低学年総合 3～6年生：専科制（教員のいる教室に移動）				
10:15～10:55					
11:00～11:40					
11:45～12:25					
12:30～13:30	Home				
13:40～15:00	Home 代表者会議	Laborator		Laborator	家庭学習 時期により Home

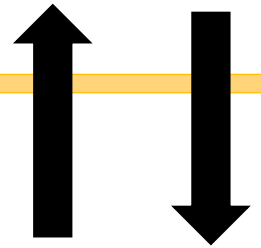
「学びを自分でデザインする」カリキュラム構想案

Laboratory
学びの「ビジョン」に迫る道筋を
「自分」でデザイン

Home
「よりよく生きる」ことを
「みんな」でデザイン

デザインの実践の場





Class
デザインの実践に向けて、文化・科学の叡智から世界の見方・考え方を広げる
⇨子どもの経験世界を広げ，「デザイン」につなげる